

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

April / 12 / 2019 # 73

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『花粉症』

[2] Pepeのひとりごと

『毎日の練習』

[3] おすすめ動画

『Joe Alessi live on Sarah's Horn Hangouts』

『ユーフォニアムと吹奏楽のための幻想的変奏曲 Fantasy Variations for

Euphonium and Wind Band by Ito Yasuhide』

[4] 演奏のヒント！

『テンポのある音』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『花粉症』

4月に入り、ずいぶん暖かくなってきましたね。

先月から花粉の飛ぶのも活発になったようで、花粉症の人にとっては大変な時期がやってきました。

これまで花粉症とは縁のなかった僕ですが、実は、今年はそのような気配があるんです・・・（涙）。

去年か一昨年あたりから目のアレルギーは確認されていたのですが、
どうやら今年は花粉症と言っているような感じになってきたようです（泣）。
症状はまだひどくはないのですが、今後はいろいろと対策を練って
いったほうがよさそうです。

残念だけど、仕方がない。
これからは仲良く付き合っていこうと思います。 ;)

[2] Pepeのひとりごと

『毎日の練習』

音楽をやっている人にもいろいろといて、仕事として毎日演奏活動に
接している人もいれば、アマチュア奏者として自分の生活の空き時間を
上手に利用して音楽演奏を楽しんでいる人、また学校などのクラブ活動
を通して演奏活動を楽しんでいる人など、さまざまだと思います。

みなさんの中にも「毎日練習をしないとすぐに下手になってしまう」
「1日練習しない日があれば、それを補うのに3日の練習が必要となる」
などの言葉を聞いたことある人もいると思います。

僕自身は、幸か不幸か（笑）基本的に練習が好きなので毎日練習しても
苦にはならないし、それが楽しみの1つでもあるのですが、だからと
いって「毎日やらないと！」と思っているわけではないんですよ。
何日か楽器を吹かない日があっても、僕は普通に過ごしています。 ;)

人によっては練習していない日があったり続いたりすると不安に
なることもあると思いますが、これは、基本的に精神的な影響のほうが
大きいと思っています。

たまにこのようなことに関して質問を受けることがあるのですが、
僕はそういうときにこのような返答をしています。
それは、1日を24時間と考えるか、48時間と考えるか、ってこと。 :D

何のことだかわからないかもしれませんが、どういうことかという、
例えば、1日楽器を吹いていない日があるとします。
その時、1日を48時間だと考えると、午前中は楽器を吹いていないが、
午後には吹くことはできる、という状態になりますよね。 ;)

そのように捉えてみると、そんなに不安になる必要ないんじゃない？
ってことです（笑）。

初心者の方は、数日吹いていなければなかなか上達はしないと思いますが、

ある程度の期間楽器を吹いた経験がある人なら、2、3日楽器を吹かなくても身体は感覚を覚えています。

あと大切なのは、不安にならないこと。

いっそのこと、1日や2日楽器を吹いていないことを忘れちゃいましょう。 ;)

僕は、このように考えて過ごしています。

この方法がいいかどうかはわかりませんが、このような感覚でいる人もいる、ということを知っておくだけでも、少し楽になることがあるかも?? ;)

[3] おすすめ動画

『Joe Alessi live on Sarah's Horn Hangouts』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=d0RHR35rVa8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s)

[v=d0RHR35rVa8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=d0RHR35rVa8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s)

今月の1つ目の動画は、世界中の名プレイヤーとのインタビューで大人気の、ベルリン・フィル、ホルン奏者Sarah Willis氏のチャンネルから、NY Philharmonicの首席TromboneのJoe Alessi氏とのインタビューの動画です。

先月号でも、Joeの演奏の動画を挙げましたが、また今月も彼に関する動画となりました。 ;)

興味深い話の途中、サプライズでのゲストもあり、楽しめました。 ;)

『ユーフォニアムと吹奏楽のための幻想的変奏曲 Fantasy Variations for Euphonium and Wind Band by Ito Yasuhide』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=AU025e2rp-8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6&t=0s)

[v=AU025e2rp-8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=AU025e2rp-8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6&t=0s)

2つ目の動画は、久しぶり(?)にEuphoniumのものを。 ;)

小久保まいさんのソロで、伊藤康英さん作曲の幻想的変奏曲です。

数年前から個人的に小久保さんとのつながりはあるのですが、実は、まだちゃんと生で彼女のソロ演奏は聴いたことありません(泣。一緒に大編成のアンサンブルで演奏したりはしたことあるのですが)。

初めてちゃんと演奏をこの動画で聴きましたが、素晴らしい演奏です! ;)

お楽しみください。 ;)

[4] 演奏のヒント!

『テンポのある音』

言葉で説明するのはとても難しいと思うのですが、音には、たとえ一音であっても「テンポ」が存在しています。
このテンポのコントロールができる人とできない人では、音楽演奏家としての技量がずいぶんと変わってきます。

いろいろな人がいるとは思いますが、意識していてもしていなくても、この「音の持つテンポ」を演奏している曲の中で上手にコントロールをすると、より演奏がリアルに（立体的に）なります。

これをするためにどのような練習をすればいいのでしょうか。

例えば、わかりやすい例としてこの2種類のロングトーンをイメージしてみてください（もしくは、実際にやってみてください）。

A - テンポ60で4拍のロングトーン

B - テンポ120で8拍のロングトーン

場合によっては、この2つは同じように聴こえますよね。
時間で考えると、同じ時間（秒数）音を伸ばしています。

しかし、ここで「同じ音にならないように」気をつけて練習をしてみましよう。

目標としては、聴いている人に「同じように聴こえないように」気をつける感じですね。

説明しやすいよう、わかりやすい例としてこれを挙げましたが、これはものすごく難しいですよ。

もしくは、J.Rochutの「Melodious Etudes」という教則本を持っている人は、それを少し遅めのテンポや少し速めのテンポでも演奏してみて、曲の雰囲気を変えられるように工夫をしてみてください。

テンポだけが違う演奏にならないで、違う曲のように雰囲気を変えることができれば、大成功です。 :D

ぜひ、こういうことにも気をつけて練習してみてくださいね。

編集後記

今年は天気もよく、きれいに咲いている桜を見る人が多いですね。

みなさん、お花見はしましたか？

僕は、お弁当やおやつを持ってのお花見はしていませんが、お散歩をしながらのお花見はしましたよ。 ;)

この年度末、年度初めは我が家にとっては卒業式や入学式があり、
いつもに比べて多少バタバタとしていました。
しかし、それも今週あった入学式で全て終了！
やっと日常が始まります。 :)

今年も4月になり、2019年ももう1/4が過ぎてしまいましたね。
まだまだ今年のうちにやりたいことはあるので、のんびりしすぎないで、
でも貪欲に前を向いて、これからも進んでいこうと思っています。 :)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>